

ディートリヒ・ヘンシェル Dietrich Henschel, baritone (バリトン) 美しき水車小屋の娘



©Patricia Wilenski



深く艶やかな声、
圧倒的な表現力で歌う、
シューベルト魂の傑作

Program
シューベルト：
美しき水車小屋の娘

フィッシャー・ダイースカウの後継者と称される、現代バリトンの代表格

2020 2/6 木 19:00 開演 (18:30 開場)
東京文化会館 小ホール [JR 上野駅 公園口]

(東京都台東区上野公園 5-45 03-3828-2111)

全席指定 5,000 円 学生 3,000 円

チケット取り扱い：チケットぴあ t.pia.jp 0570-02-9999 [Pコード：153-080]

イープラス eplus.jp / 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

※未就学児童のご入場はご遠慮ください。

後援：日本ドイツリート協会

主催・お問合せ：オーバス・ワン 03-5577-2072 info@opus-one.jp



共演：岡原慎也 (ピアノ)
Shinya Okahara, piano

Die schöne Müllerin

愛をうたうと悲しみになり、悲しみをうたうと愛になる（シューベルト）

歌曲集『美しき水車小屋の娘』は、ヴィルヘルム・ミュラーの詩にシューベルトが曲をつけた全20曲からなる連作歌曲集で、「冬の旅」・「白鳥の歌」と並ぶシューベルト3大歌曲集の一つ。
修行の旅に出た粉挽き職人の若者が、美しい水車小屋の娘に出会い恋をするが、娘の心は狩人に奪われ、悲嘆にくれた若者は小川に身を投げる。どこまでも清らかで澄み切った音楽が、痛ましくも美しい若者の姿を見事に描き出す。



ディートリヒ・ヘンシェル
Dietrich Henschel, baritone



岡原 慎也
Shinya Okahara, piano

1990年国際フーゴー・ヴォルフ・コンクール入賞。ミュンヘン・ビエンナーレでデビュー後、リヨン歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラで国際的キャリアをスタート。以降、ベルリン、ミュンヘン、アムステルダム、ブリュッセル、リスボン、マドリッド、ジュネーヴ、パリなどヨーロッパ各地の歌劇場、ザルツブルク、エクサン・プロヴァンス、フィレンツェなどの音楽祭に出演多数。アーノンクール、ガーディナー、ヘレヴェツヘ、ヤーコプス、エッセンバッハ、リリング、クリスティ、ペトレンコ、ナガノ、メータ、ドホナーニ、アルブレヒト、ラトル、ティレマン、大野和士、カンブルラン、マイスター、ユロフスキなどと共演。

リート歌手としての評価も極めて高く、アーヴィン・ゲージ、フリッツ・シュヴィングハンマー、ヘルムート・ドイチュ、岡原慎也らのピアニストと共演。

近年は、名歌曲の情緒豊かな文学的内容を視覚化させようとの試みから意欲的なプロジェクトに取り組み、2010年シューベルト『白鳥の歌』舞台版にモネ劇場、アン・デア・ウィーン劇場、ベルリン・コーミッシェ・オーパーなどで出演。2013年、映像プロジェクト『Irrsinn-Forbidden Prayers (狂気の一禁じられた祈祷者たち)』をトーンハレ・デュッセルドルフで初演、メーリケの詩によるヴォルフ歌曲の濃密な音楽世界を作り上げ、コンサートでは映像と歌曲を融合させたステージを展開。直近の映像プロジェクト『WUNDERHORN (不思議な角笛)』は、マラー「子供の不思議な角笛」全曲コンサートを、デ・ドレーン（ロッテルダム）、BBC交響楽団、モネ劇場と協同で進め、2016年に初演された。

東京芸術大学付属高校を経て東京芸術大学に入学、在学中より演奏活動を始め。同大学卒業後、ドイツに留学。ベルリン芸術大学、ミュンヘン音楽大学マスタークラスにおいて研鑽を積み、ドイツ各地で演奏。帰国後、ベートーヴェンのピアノソナタ全曲演奏やリサイタル、コンチェルト等で高評を博す一方、シューベルトやヴォルフの歌曲の全曲演奏などドイツ歌曲や室内楽にて精力的な活動を展開し、1994年にはヘルマン・プライ、95年にはテオ・アダムと共演、NHK芸術劇場で放映される。1996年にはディートリヒ・ヘンシェルの初来日公演をプロデュースし、翌97年のシューベルトイヤー、99年のR.シュトラウスイヤーの全国ツアーを成功させる。国内のみならず、チェスキー・クルムロフ音楽祭、リヒャルト・シュトラウス音楽祭、グラン・カナリア音楽祭などに招待され、ソリスト、歌曲のパートナー、室内楽奏者として幅広く活動している。2006年春にはチェコにおいて指揮者デビュー、ウィーン・フィルの主力メンバーからなるシュトイデ・カルテットと、ザルツブルク、ウィーン、大阪でのツアーを成功させる。ヘンシェル、シュテファン・ゲンツ、チェコのマルティヌー・カルテットなど、多くのアーティストと国内外で共演を重ねている。

ヘンシェル、ヘルムート・ドイチュらとの「ドイツ歌曲解釈の夏期講習」（隔年）はドイツ、オーストリア、日本で計7回開催され、多くの若い音楽家たちが巣立っている。

1993年京都音楽賞、96年大阪文化祭賞本賞、2001年音楽クリティッククラブ賞、2012年第66回文化庁芸術祭優秀賞を受賞。これまでに20枚以上のCDがリリースされている。現在、大阪音楽大学大学院音楽研究科長。日本ドイツリート協会会長。



ディートリヒ・ヘンシェル (バリトン) 美しき水車小屋の娘

ピアノ：岡原慎也

【日本アコースティックレコーズ】
NARD-5067 予価¥2,800(+税)

2020年1月30日発売(予定)
録音：2019年3月6、7日(岩舟文化会館コスモスホール)